

# 「三重県総合教育センター メール通信」

第3号（平成28年11月11日発行）

## 特集1

### 子どもが求めているもの ～教育相談ベーシック研修の受講をとおして～



周りとの関係がつかれない、思い通りにならないと暴れるなど、子どもの心の問題は複雑化・多様化しています。このような子どもの心の理解と対応について、心理臨床的な視点から学ぶ講座として、教育相談ベーシック研修を実施しました。第6回では、「教育相談のエッセンス～事例をとおして～」と題して、心の専門家である京都大学大学院教授の桑原知子先生をお迎えし、講義と事例検討を行いました。

子どもに心の問題が生じたとき、原因を見つけて解決しようとするだけではうまくいきません。子どもは、自分に関心をもち続け、心のエネルギーを使ってくれる大人を求めています。教師が、子どものために葛藤し続けること、子どもの力を信じて見守ることの大切さについて学びました。

会場からは、「日々子どもたちとのかかわりの中で埋没しがちな自分を、しっかり見つめ直すことができました。」「エネルギーを使いながらつながっていきたいと思いました。」「『この子がいてこそ、この学級と思えるか』という言葉が、心にぐっときました。」等の感想をいただきました。参加者自身の心が揺り動かされ、自分と向き合う時間となりました。

私たち教師は、子どもの変容性を信じること、多様な子ども一人ひとりの個性を生かすこと、子どもとの関係をつくることの3つを心がけて実践していくことが大切です。

## <教育相談研修>

### ○ケース・カンファレンス

学校や教育支援センター等の事例を詳細に学び合い、心理臨床的視点から子どもへのかかわり方を考え、教育相談の実践力を高めます。教育相談に興味・関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

第3回 1月14日（土）14：00～17：00（総合教育センター多目的ホール）

### ○教育相談地域支援研修「地域連携講座」

教育支援センターと連携して事例検討等を実施し、心理臨床的視点から子どもたちへのよりよい支援のあり方について考えます。県内の教育支援センター担当者、保幼小中県立学校教職員、スクールカウンセラー、相談員等、どなたでも参加いただけます。ぜひお越しください。

第3回 12月26日（月）14：00～16：30（東員町総合文化センター）

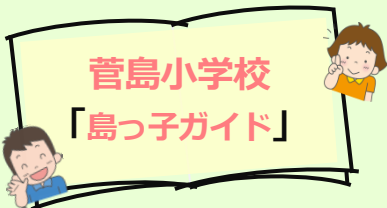
## 学びを生活や社会に生かす！

～ 鳥羽市立菅島小学校の取組より ～

「何を知っているか・何ができるか」「知っていること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という、21世紀に生きる子どもたちに育成すべき資質・能力の3つの柱を踏まえた教育実践が模索されています。

その実践例として、離島という地域の特色を生かし、豊かなコミュニケーション力の育成を図っている鳥羽市立菅島小学校の取組を紹介します。

### ～ 島の魅力を世界に発信したい！ ～



『将来どこに行っても堂々と自分の考えを表現できる力を身に付けさせたい』という願いのもと、この「島っ子ガイド」の取組が始まり、今年で10年目を迎えます。年間4回のガイド活動が行われており、対象者は修学旅行生・ガイドフェスティバル参加者・外国人と様々です。

子どもたちは、ガイドをするために、国語や社会、総合的な学習の時間、学活の時間を活用して、表現方法や資料の集め方、その活用方法等を学んでいます。

「島の魅力をわかりやすく伝える」という「めあて」の達成に向けて、子どもたちは意欲的に学習に臨んでいます。

6月9日（木）に行われた第2回島っ子ガイドでは、IATTS（国際交通安全学会）研修生（ASEAN諸国18名）に対してガイドを行いました。自分たちで調べたこと、保護者や地域の方から聞いたことをふんだんに盛り込み、「島の魅力」を一生懸命伝えていました。

ガイド後の交流会の中で、島への愛着や、「両親がやっている旅館を継いで、日本一の旅館にする！」等の夢を熱く語る子どもたちの姿が印象的でした。



### 子どもたちの変容

- 表現することに対して前向きな子どもが増えた。
- わかりやすく伝える原稿を作成するためには、何度も「推敲する」ことが必要。国語力（特に書く力・話す力）が向上した。
- 参加者とのガイド中のやり取りを通して、コミュニケーションスキルが向上した。
- 子どもたちがチャレンジする姿は地域住民の心にも灯をともした。ガイドの中に、地域の名産品試食体験等が組み込まれるようになり、大人も子どもも、自分たちの住む「島の魅力」を再発見する取組になった。

身近で切実な課題の設定が、子どもたちの学習意欲につながります。

今後、学校と地域が互いの役割を認識しつつ、共通の目標に向かって活動する「パートナーとしての連携、協働関係」がますます必要になってきます。



このメール通信は、教職員研修に関する様々な情報を定期的にお届けするために発行しています。「こんなコンテンツを載せて欲しい」「こんな研修を受けたい」などのご意見・ご要望等ございましたら、研修企画・支援課までお寄せください。



三重県総合教育センター メール通信 平成28年度 第3号

発行元 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

電話：059-226-3731 FAX：059-226-3706 E-mail：kenshien@pref.mie.jp

三重県総合教育センター Web ページ <http://www.mpec.jp/>

